

# 歴史に想いをはせて これから明日香村に期待すること

明日香村や明日香法に関わりのある議員の方々に  
明日香への想いや今後の取組について語っていただきました。

**田野瀬太道**：明日香法制定 40 年ということでこのような機会をもっていただきましてありがとうございます。本日は村長に上京していただいて、「飛鳥古京を守る議員連盟」会長、「明日香村保存・整備 PT」座長に明日香村に対しての想いを語っていただく機会ということで、よろしくお願ひします。

**森川裕一**：明日香法制定から 40 年が経過します。飛鳥古京を守る議員連盟の皆様、そして明日香村の保存・整備 PT の皆様に大変お世話になっております。昨年 3 月に第 5 次明日香村整備計画ができあがりました。歴史的風土創造的活用交付金も、国と県を合わせて毎年度 2 億円にしていただきました。また、世界遺産登録について、昨年 3 月に推薦書素案を文化庁に受け取っていただきました。これから世界遺産登録の話も本格的に進んでいくと思います。また、国宝高松塚古墳壁画の



保存公開施設についても、基本構想に着手するという話をいただいております。要望していたことが実現しており、本当に御礼を申し上げます。今までの取組について、先生方からお話をいただければと思います。

**細田博之**：明日香法制定から遡ること 10 年前の昭和 45 年に諸先輩方により「飛鳥古京を守る議員連盟」を発足していただきました。明日香法制定からは 40 年ですが、「飛鳥古京を守る議員連盟」発足からは 50 年が経過します。一時は、超党派の議員連盟として、「日本のこころのふるさと」を守るために活動をしてきました。その取組により、明日香村の歴史的風土が守られていたことは誇りに思います。平成 9 年には再発足を行い、凍結的保存から創造的活用へと大きく舵を切りました。特に農林水産大臣などを歴任されました野呂田芳成先生は明日香法の制定から創造的活用へと明日香村の保存と発展に大きく尽力され、我々はその意思を継いでいます。私が会長をするよう命を受けたのは 10 年前です。その後、公明党「明日香村保存・整備 PT」とは、一緒になって取組を行い、議員連盟として一歩一歩進んでいます。世界遺産登録については、最初から理想的な形でやろうとするのではなく、走りながら考えていくべきだと思います。大変大事な遺産があることは確かに、わが国の律令国家体制が初めて形成された時代の政治文化の中心的な地域です。これからも大切にしていきたいですし、それを世界に認めていただいて、多くの観光客、あるいは学生や子供たちにもサポートしてもらいたいと、心から願っております。

**北側一雄**：明日香村というと、森本晃司さんが偲ばれます。公明党の大先輩で、長年、奈良県選出の衆議院議員、参議院議員として活躍されました。2004 年に政界を引退されましたが、その後も地元の奈良県で幅広く活躍されていました。その一つが、飛鳥京の観光ボランティアでした。私自身も大の古代史ファンで、昔から飛鳥はもちろん、奈良には度々訪れています。もう 10 年以上前だったと思いますが、明日香村で観光案内をしている森本さんにバッタリお会いしたのです。国會議員を引退しても、一県民として現場でボランティア活動に汗をかいておられる姿に感銘を受け



ました。明日香村応援大使も務めていた森本さんですが、飛鳥の歴史文化の保存を応援してもらいたいと熱心に要請を受け、公明党内に「明日香村保存・整備 PT」を発足することとなりました。その後も国会内での会合に共に参加していただきました。

飛鳥の時代というのは 6 世紀から 7 世紀で、その前はいくつかの国々が連合を組んでいた時代だったと思います。そこから日本という国家が形成されていくのが、まさしく飛鳥時代だと思うのです。日本という国名が出てくるのも飛鳥です。我々の歴史を遡るとき、日本という国家がつくられる、その大事な時代の都です。ここをきちんと保存し、また将来に向けて発信していくことは、とても大事なことで、日本としてしっかりやっていかなければならぬプロジェクトだと思います。これからも、森本先輩の思いを継ぎ、次世代、その次の世代にも、魅力ある発信ができるような、そういうまちづくりをサポートし、まさしく國の「まほろば」である明日香村の発展に力を尽くしてまいりたいと思います。

**森川裕一**：今おっしゃっていただいた、次の世代に残すためにということで、明日香村は今後、どのような姿を目指すべきか、ご提言いただければありがたく思います。

**細田博之**：明日香村も人口が減ってきてています。明日香村のふるさとおこしの事業として人を雇って、観光事業や農林業の手伝い、あるいは史跡の関係でも雇用をして、年金、給与が保証されて働くシステムがあります。国が支援するものですし、村全体のために働いてもらうことが大事です。地域おこしのために若い人が活動できて、生涯働く、みんなが頼りにする、そういう枠組みになっています。是非活用してほしいです。一生、村に住もうという人を増やしましょう。その



結果、明日香村の歴史的風土は将来にわたり保存されていくのではないかでしょうか。

**北側一雄**：一つは魅力をどう発信するかです。明日香村は、日本の国家形成過程を理解する上で非常に重要な地域です。その国家形成過程を学び理解できる地域として、全国に、全世界に、どう発信していくかがとても大事だと思います。発信されたものは、やはり実物をみたくなるものです。写真や映像だけではなく、古代の歴史ある飛鳥に、実際にこの目で見てみたい、ふれてみたいというような発信をしていただきたいです。もう一つは持続性ですね。これは明日香村だけでなく奈良全体で、どう持続させるかという基盤をつくっていかなければと思います。奈良県全体として、飛鳥という地域を、いかにゆるがない、持続性のあるものとして発展させていくか。そのためには経済的な基盤が非常に大事です。そういう意味では民間の活力を活用することも大切なように思います。

**細田博之**：明日香法では、わが国の律令国家体制が初めて形成された時代の政治文化の中心的な地域であったことを偲ばせる歴史的風土を保存しています。この地域というのは明日香村全域が対象になっているわけで、地域住民の理解と協力が不可欠となります。そのためにも、この景観や環境の中で生活できることの喜びを感じていただけることや、今まで守られてきた景観や文化財を活かし、歴史的風土が我々の生活に役立っていると思えることが必要です。今は新型コロナウィルス感染症のため、全体がシルリンクしています。これも必ず克服していくのですから、いろんなお客様

にきていただくことで、村の所得向上に繋がると思います。やはり観光資源というものが大事ですね。

**森川村長**：新型コロナウィルス感染症の影響で、田舎が注目され、民間企業さんが明日香に目を向けていただいている。そういうことを踏まえて今の話を聞きしますと、「まさに今、頑張らなあかんねんな」という気持ちです。先ほどの話に引き続きですが、飛鳥・藤原の世界遺産ですが、明日香村を中心とした飛鳥地域一帯で最速2024年の登録を目指しています。それに向けて、先生方の思いをいただければありがとうございます。

**北側一雄**：飛鳥には素晴らしい歴史や文化財が多くあります。これだけ集中している地域もそれほどあるものではありません。先程の話につながるのですが、この「見せ方」が非常に大事です。私の地元の百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録され、ついこの間、仁徳天皇陵の拝所のすぐ隣にビジターセンターができました。先日行ってきましたが、世界遺産になると、観光バスでどんどんと、本当にびっくりするぐらい観光客が来られます。ただ、観光客は「これなに?」という反応なのですね。見た目は山ですから。古墳群の魅力は上から見ないとわからないのです。ビジターセンターの中で、壁面と床面いっぱいを使った8Kの大きなスクリーンで、空撮した動画映像が見られます。それを見ているだけで自分が空から見ているような気分になります。仁徳陵だけではなく古墳はいっぱいありますから、それを空撮した映像を見せてくれるので。これはなかなか上手な見せ方だと思います。地元の住民でも上から見た人なんていません。案内などで



あちこちにあることを言われても、よほど高いところに行かなければわかりません。いかに見せるかということは、恐らく飛鳥においても大事です。飛鳥の場合は、高松塚、キトラもあります。立派な施設もたくさんありますので、是非、来た人がまたここに来たいと思ってもらえるように、また、帰ってから「よかったよ」と周りに宣伝してくれるような、そういうふうな魅力づくりを、知恵を出してやっていただきたいですね。

**細田博之**：私の地元でも「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産に登録されました。そうしたらやっぱりお客様がどんどんやってきました。「あんまり開発されていないからいいのだ」という話もありました。それから、松江には松江城がありまして、昔は国宝だったものが一旦重要文化財になってしましました。また国宝に再指定されると、お客様がどんどん来られるようになりました。出雲大社の関係では、天照大御神や須佐之男命にまつわる神話があるので、映像にするとみんな喜んでみてくれるのです。飛鳥にも、色々な物語がありますから、厩戸皇子をはじめとしたみなさんの劇を見せるとか、テレビで放映された映像の権利を借りて、常時映像を流したらいいと思います。こうしたものを活用することです。それから、歴史が背景にありますからそういう解説的なものがあれば意味があると思います。

**北側一雄**：明日香村は万葉集のふるさとですから、万葉集をもっと全面的に出されてはいかがでしょうか。万葉集は、偉い人だけの歌ではなく、市井の人々の暮らしも入っていて良いのではないか。

**森川村長**：明日香村には県立万葉文化館もありますし、ある方からは万葉集の英訳をもっと世界に出したらどうかというご提案もいただきました。我々も視点を見落としていたと思います。最後に、「飛鳥古京を守る議員連盟」「明日香村保存・整備PT」の抱負も含め、今後もご支援賜りますように、一言ずつコメントをいただければと思います。

**細田博之**：発足から50年間、これまで数多くの先生方の賛同を得て、総力をあげて飛鳥の歴史的風土を守るために活動を続けてきました。歴史的風土を守り



続けるためには、地元住民の理解協力を得、さらには村外からの協力も得ていく必要があると思われます。そのためにも、引き続き地元に必要な取組、そして、世界遺産登録を見据え、明日香村を国内のみならず世界に発信して、世界的な視点から飛鳥の保存・発展に取り組めたらと考えています。会員数も増やし末永く応援していきます。

**北側一雄**：明日香村は国をあげて大切に守るべき地域であり、国民の財産といえる景観や文化財が良好に保存されています。そして、まだまだこれからも新たな文化財の調査結果が発表されるかも知れない楽しみな場所です。文化財の継続的な調査やその価値を伝えるための整備、そしてそこに住む住民が誇りに思える地域となるよう、国県村や関係団体が連携して取組が行えるようサポートさせていただきます。そして明日香村の歴史的風土が今後も大切に守られていくことを期待しています。

**田野瀬太道**：お二方本当にありがとうございました。細田先生からは重要なメッセージとして、マンパワーの重要性、そして雇用、地元がちゃんと持続的に潤わない意味がないのだという切り口でお話をいただきました。北側先生からは発信をしっかりと強めていくこと、そして持続性が必要であること、さらに今後の活動内容について大事な観点を今日はおっしゃっていました。これを皮切りに森川村長もさらに頑張っていただけると思います。引き続きご支援をよろしくお願い申し上げ、会談を閉会させていただきます。ありがとうございました。

会談日：令和3年3月24日